

報 告

近畿病院図書室協議会 第11回交流会 in 神戸 参加記

寺澤 裕子

第11回の交流会は2017年6月4日(日)13時から、三宮駅に近い神戸国際会館セミナーハウスで開催された。参加者は13名だった。

参加者の皆さんと協力して机を口の字型に動かし、幹事が事前に注文しておいたお弁当とお茶を配り着席。簡易の名札プレートと事前に寄せられていた質問事項の紙を各席に置いて、交流会は始まった。今回は13時からと少し遅めのお昼ご飯を食べながら、順に自己紹介と図書館業務で困っていることや知りたいことを話し、それに対し参加者が応える形で進んだ。

今回は病院図書館業務の基礎、業務の進め方(パッケージ製品の購読を停止する際の対処、寄贈図書の受け入れ、ホームページがない図書館での工夫、文献相互利用時のマナー)や、図書館システムを導入しようとする担当者の質問、24時間利用できる図書室の管理方法(監視カメラの設置)などがあった。

毎回、脱線しながらも話題は尽きず、時間ギ

リギリまで盛り上がる。着席スタイルで行われるため、交流会の最中は席が遠くてあまり話することができないこともある。そんな人とも、準備時間や撤収作業時間などに立ち話ができる、そんな時間も含めて交流会だなあと毎度思う。

1人で勤務することが多い病院図書館では「こんな時どうしてる?」と気軽に相談のできる場として、交流会は役立っているのではないかと思う。研修会のように、テーマがあってそれに基づいた勉強をみんなで行うのはとても有意義だ。でも交流会のようにちょっとした質問ができる場もよいものが。一人で参加した人も、初対面だらけの中に思い切って参加した人も、毎回和気あいあいとした雰囲気になる交流会はステキだと思う。おそらく、おいしい食べ物の存在が一役買っているのだろう。

開催にあたり、お手伝いをいただいたみなさん。ありがとうございました。